

○景観を探る 1. 「空、野鳥のいる景観」

講師：金子大輔

2011年5月14日（土）於：千葉県立中央博物館 講堂 時間：13:00～14:00

内容：気象や海・山・川で気をつけるべき自然現象について、野鳥の観察するときの注意点とともに紹介いたします。野外活動は、天気しだい！天気を味方につけ、事故を防ぎ、楽しく野鳥を観察しよう。

魅力あふれる海や山、川への訪問。楽しい反面、危険もたくさんあります。動物でも自然でも人間社会でも、危険を避けるためには相手をよく知ることがポイントになると思います。今回は楽しみながら、自然界での危険を回避するテクニックについてお話したいと考えています。

海へ行けば、潮が満ちたり引いたり、大波、小波が打ち寄せたり……。波をよく観ると、今何が起きているのか、あるいは慣れた方であれば、おおまかな天気図がイメージできてしまうかもしれません。波のメッセージをキャッチできれば、嬉しいばかりかリスクを回避することもできるでしょう。サーファーマ目線、そして気象予報士目線で波を眺めると、波といってもさまざまな種類があることに驚かされるはずです。潮の満ち干についても、いろいろなタイプがあり、まさに海の表情は毎日違うといっても過言ではありません。

また、2010年2月に世界中を騒がせたのが津波です。津波は一般の波と性質が大きく異なります。チリ沖で起きた地震は、津波が世界中に広がったり、地球全体がおかしくなりかねないほどの規模でした。津波や大地震は、一歩間違えば世界的大惨事にもなりえます。そんなとき大切と思われる心構え、そして地震予測の問題などについても触れたいと思います。

そして、海・山問わず、いきなり襲ってくる怖いものといえば雷。2010年9月26日、「大原はだか祭り落雷事故」で落雷事故が発生しました。雷雨にあったときに気をつけることや雷雨の予測についてお話したいと思います。

雷雨とともに恐ろしいのは近年の流行語とも言える「ゲリラ豪雨」。自然の中ばかりでなく、町の中にもゲリラ豪雨は脅威です。近年のゲリラ豪雨の例などを見ながら、その特徴に迫りたいと思います。

野鳥の観察をはじめとした野外活動は、天気しだい！天気や自然現象を味方につければ、蠱惑的なまでに愉しくエキサイティングな時間を過ごすことができるでしょう。

【通り雨の旅路】 <http://www5e.biglobe.ne.jp/~tooriame/>

【Twitter】 <http://twitter.com/turquoisemoth>

